

登録コード	L2963900	開講年度	2026				
担当教員	KUEHNICKE BJOERN			副担当			
授業科目	西洋文化事情Ⅱ						
英文授業名	Trends in European Culture Ⅱ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限
講義室	人文204演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ，2021Lカリ，2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			⇔	フランス語圏の国や地域の文化を学び、理解した上で、自らの国や文化との違いや共通点を見出すことができるようになる。		
	【2022年度以前カリ対象】領域横断的な事柄に対する問題解決能力および創造的な企画構想能力			⇔	フランス語圏の国や地域の文化を学び、異文化に対する理解を深め、グローバル社会の問題解決に向けた取り組みができるようになる。		
	2026Lカリ，2025Lカリ，2024Lカリ，2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	フランス語圏の国や地域の文化を学び、理解した上で、自らの国や文化との違いや共通点を見出すことができるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	フランス語圏の国や地域の文化を学び、理解した上で、自らの国や文化についてドイツ語で発信できるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	フランス語圏の国や地域の文化を学び、異文化に対する理解を深め、グローバル社会の問題解決に向けた取り組みができるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	本授業は、フランス語圏の文化について、日常生活から歴史・社会にわたり多角的な側面から知見を深めていく。その上で、受講者が関心を持ったテーマを選択し、それについて英語またはフランス語で発表をおこなってもらう。						
授業計画	授業は、英語とフランス語でおこないます。第1回から第7回にかけて講義形式でおこない、各回の講義内容について、次の回までに感想を含む小レポートを提出してもらいます。講義で扱われたテーマの中から関心を持ったテーマを選択し、第8回から第15回にかけて、受講者が発表をおこないます。 第1回 ガイダンス 第2回 テーマ1 第3回 テーマ2 第4回 テーマ3 第5回 テーマ4 第6回 テーマ5 第7回 テーマ6 第8回 発表（テーマ1） 第9回 発表（テーマ2） 第10回 発表（テーマ3） 第11回 発表（テーマ4） 第12回 発表（テーマ5） 第13回 発表（テーマ6） 第14回 まとめ（フランス語圏の文化的慣習について） 第15回 まとめ（総評）・授業アンケート						
成績評価の方法	小レポート50%、発表50%の比率で総合的に評価する。						
成績評価の基準	講義内容を理解し、内容に関する感想や意見を英語またはフランス語を使って表現することができれば水準にある。 講義内容を基に、関連する事象や具体例を挙げながら、独自の解釈を英語またはフランス語を使って表現することができればかなり上にある。 講義内容を基に、独自の観点で新たなテーマを発見し、それについて英語またはフランス語語を使って解説することができれば、卓越している。						
事前事後学習の内容	配布されたプリントを読み、講義内容について理解を深めておくこと。						
履修上の注意	講義は、英語、フランス語あるいは日本語でおこないます。						
質問、相談への対応	メールにて対応します。 isobe@shinshu-u.ac.jp						
教科書	使用しない。 教場にてプリントを配布する。						

参考書	教場にて指示する。
-----	-----------